

令和8年2月13日

丹波市教育委員会
教育長 片山 則昭 様

丹波市文化財保護審議会
会長 大木 辰史

丹波市指定文化財候補諮問に係る答申について

令和7年3月7日教育委員会諮問第1号で諮問のあった下記の市指定文化財候補物件については、丹波市指定文化財として価値のあるものと判断しましたので、指定し、その保護と保存を図るよう答申します。

記

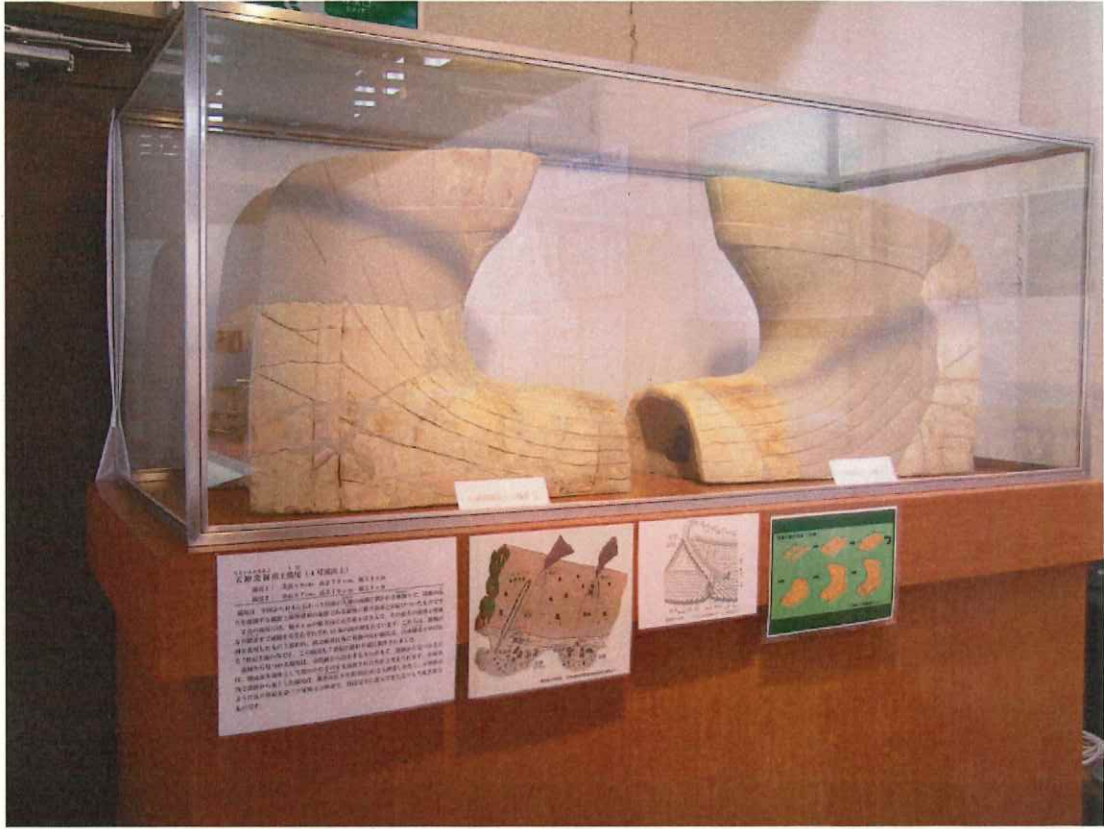
1 指定物件

	指定物件名	申請者
1	天神窯跡出土鴟尾 3点	丹波市
2	清菌寺庭園	宗教法人 清菌寺
3	絹本著色仏涅槃図 1幅	宗教法人 常勝寺

2 指定根拠

別紙調査報告書のとおり

□指定物件名 1：天神窯跡出土鴟尾



【4号窯出土鴟尾：2点】

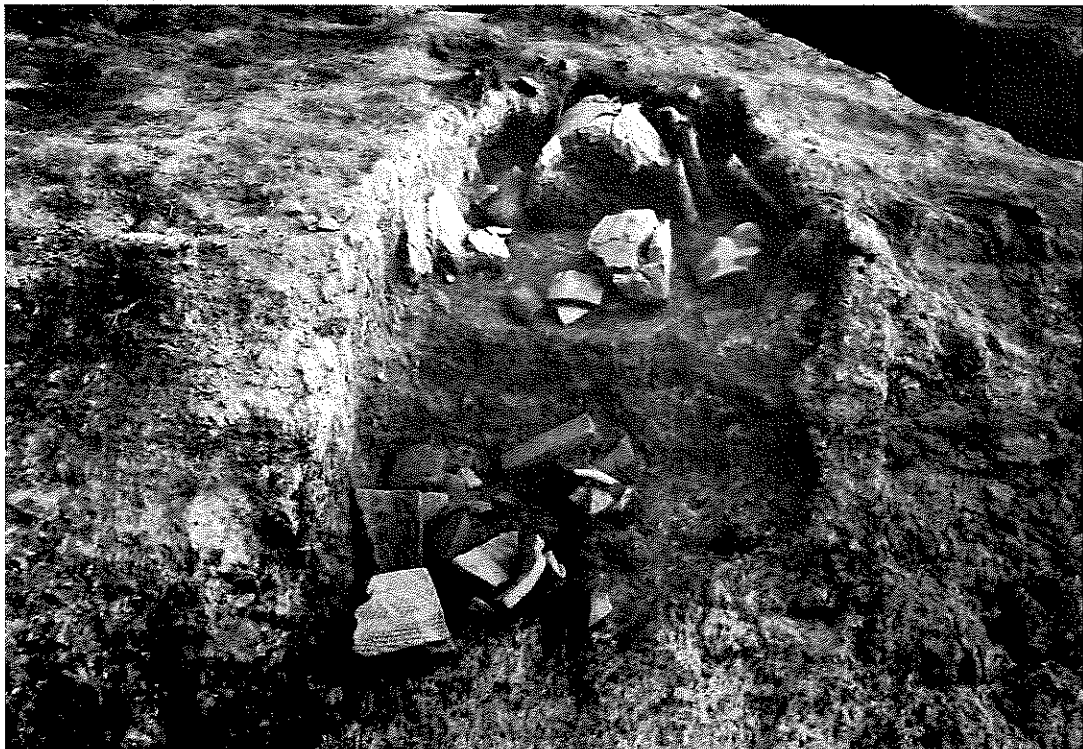


【3号窯出土鴟尾：1点】

「丹波三ツ塚遺跡Ⅳ」天神窯跡発掘調査報告
(丹波三ツ塚遺跡発掘調査団編 平成12年発行) より写真引用



【4号窯（北から）】



【3号窯（北東から）】

種別	有形文化財（考古資料）
名称及び点数	天神窯跡出土鴟尾 3点
所在地	丹波市市島町上田1134（丹波市立市島民俗資料館）
所有者	丹波市
所有者住所	丹波市氷上町成松字甲賀1番地
概説	<p>【3号窯出土鴟尾】1点 型式：沈線文鴟尾 寸法：全長108cm 高さ不明 最大幅56cm 程度に復元可能。 上記の寸法に合わせて一部接合。丹波市立市島民俗資料館で展示。 制作年代：7世紀後半～末</p> <p>【4号窯出土鴟尾】2点 型式：胴部有段鴟尾 寸法：〈鴟尾1〉全長89cm 高さ79cm 最大幅54cm に復元可能。 〈鴟尾2〉全長87cm 高さ79cm 最大幅51cm に復元可能。 両者ともに上記の寸法に合わせて復元。丹波市立市島民俗資料館で展示。 制作年代：7世紀後半～末</p>
基準	<p>○国宝及び重要文化財指定基準 （昭和二十六年文化財保護委員会告示第二号） 考古資料の部 重要文化財 一 土器、石器、木器、骨角牙器、玉その他縄文時代及びそれ以前の遺物で学術的価値の特に高いもの 二 銅鐸、銅剣、銅鉾その他弥生時代の遺物で学術的価値の特に高いもの 三 古墳の出土品その他古墳時代の遺物で学術的価値の特に高いもの ④ 宮殿、官衙・寺院跡、墓、経塚等の出土品その他飛鳥・奈良時代以後の遺物で学術的価値の特に高いもの 五 渡来品で本市の歴史上意義が深く、かつ、学術的価値の特に高いもの</p> <p>※市の運用基準として準用する。</p>

(説明)

天神窯跡は丹波市市島町に所在し、北西に近接する古代寺院の三ツ塚廃寺に瓦と須恵器を供給した4基の窯跡である。3・4号窯からは焼成中に失敗し放棄された鴟尾が3個体出土しており、1個体が3号窯、2個体が4号窯の出土である。

3号窯からは、7世紀後半から末にかけて播磨東部を中心に分布する「東播系鴟尾」の系譜に属する、沈線だけで段や縦帯を表現した「沈線文鴟尾」が出土している。高さは不明だが、全長108cm、最大幅56cm程度に復元することができる。その他、3号窯からは斜格子の叩きをもつ平瓦が出土しており、同様の叩きが鴟尾と1号窯出土の平瓦に見られることから、1・3号窯の瓦は同時期に焼成していたと考えられる。1号窯からは7世紀後半頃の須恵器が出土しているため、鴟尾を焼いた時期は、沈線文鴟尾が分布していた時期と相違はない。

4号窯から出土した鴟尾2点は、胴部に段を削り出した「胴部有段鴟尾」に分類され、3号窯跡出土の鴟尾と同様に「東播系鴟尾」の系譜に属する。全長は鴟尾1が全長89cm、高さ79cm、最大幅54cm、鴟尾2は全長87cm、高さ79cm、最大幅51cmに復元できる。両者は意匠や製作方法がほぼ同一し、一对の鴟尾として製作されていたと考えられる。また、文様の簡略化などから胴部有段鴟尾のなかでも終末期に位置付けられ、幅広い縦帯には3号窯出土の鴟尾の要素が引き継がれている可能性がある。

市内で出土した唯一の鴟尾であり、ほぼ同時期に操業された窯跡から沈線文鴟尾と胴部有段鴟尾の二系統が出土したことは極めて貴重である。加えて、丹波西部の7世紀後半から末にかけての播磨東部との影響関係を示すうえでも極めて重要な資料といえる。

□指定物件名2：清菫寺庭園

清菫寺庭園平面図

実測 昭和51年7月



図 71-3 清菫寺庭園平面図



図 71-4 北庭との繋ぎの石組 (2003)



図 71-5 北庭の石組 (2003)



種別	記念物（名勝）
名称及び員数	清園寺庭園
所在地	丹波市市島町下竹田68
所有者	宗教法人 清園寺
所有者住所	丹波市市島町下竹田68
概説	庭園様式：築山式枯山水庭園 作庭時代：江戸時代後期 文化年間（1804～1818年）頃
基準	○特別史跡名勝天然記念物及び史跡名勝天然記念物指定基準 （昭和二十六年文化財保護委員会告示第2号） 名勝 一 自然的なものにおいては、風致景観の優秀なもの ② 名所のあるいは学術的価値の高いもの 三 人文的のものにおいては、芸術的あるいは学術的価値の高いもの ※市の運用基準として準用する。

(説明)

南北朝・貞和三年(1347)の銘のある八角形石燈籠、また鬼退治にまつわる寺として知られるのが清園寺で、真言宗高野山末に属する。

古刹も明智光秀の丹波攻めで全焼。現存する建物は、本堂(貞享3年)、庫裏・書院(文化元年)、仁王門(寛政7年)、鐘楼、総門などである。再建当時の住職は中興の祖と仰がれた五世尊盛上人で、作庭もこの文化年間(1804~18)頃と考えられる。この庭と様式や石組手法など酷似するのが、竹林寺庭園(神戸市北区淡河町・石峰寺塔頭寺院)で作庭時期も同じ頃である。当寺とは古くから類縁関係にあった寺院といわれ、作者も同一人物による作庭と思われる。

庭園は、書院前の鍵型の空間に作庭された築山式枯山水庭園である。隅に重点的な石組を施した一見禅寺風の石庭である。庭園構成は、土塀の高さが、西側の134cm高に対して南側を80cmと低くして、背後の高谷山(標高400m)の山容を取り入れた借景式庭園といえる。中心は、南西隅の枯滝石組で、その奥に守護石を左にやや振って立てている。これは借景としての高谷山を本庭へと導く手法で庭との一体感を演出している。

滝石組の右側に山形の蓬莱石を組み、平天石と立石を階段式に組んで築山を構成する。この築山石組は小振りながらも力強い格調高い石組で安定感もある。枯滝石組とともに本庭の最も重点的な石組で優れた石組技術が特徴である。

一方、東部にかけて築山もゆるやかになって、ここに十六羅漢式石組を組む。最後の2石組でもって、一連の石組を受け止めている。このあたりの石組技術も非凡なものがあり高度な石組技術と評価できる。

西部は、西の坊への通用門があり、その門の前にある2石の立石は、北庭との繋ぎの石組となり、一体感を演出している。

このように本庭は、地元から産出する石材を使い、庭園意匠や石組手法が優れ、作庭当時の姿をよく残している。この地方この時代の作庭技術と庭園意匠を理解する上での典型的な庭園であり、県下を代表する枯山水庭園と言える。

本庭は、名所のあるいは学術的価値は高く、後世に残し伝えていく価値のある築山式枯山水庭園と評価できる。

口指定物件名 3 : 絹本着色仏涅槃図 1 幅



奉修補

釋迦世尊般涅槃曼荼羅一楨

長祿二年戊寅正月十二日最勝房德善兄弟爲悲母追孝修復之

文明十一年己亥三月廿八日本願院忍金剛前越前太守基修補之

同十八年丙午圓覺房尊慶住持之日再加修理訖

從文明丙午至于今歲星霜已送二百年故表補悉朽壞且及

尊容破損失念遙聞之不堪悲傷故命于安樂院長海送山房

拜見之則其畫極品妙手也更令畫工拜閱之則一見三嘆云是蓋

明兆筆平若不然何有此奇畫好彩乎。於于茲亦倍隨喜之爲

令法久住捨世財令修補彩飾之以安置于古山巖窠以此功薰與

以前繕修之施主同共出六道荆棘之林遊九品蓮花之池耳乃至

法界受潤增長

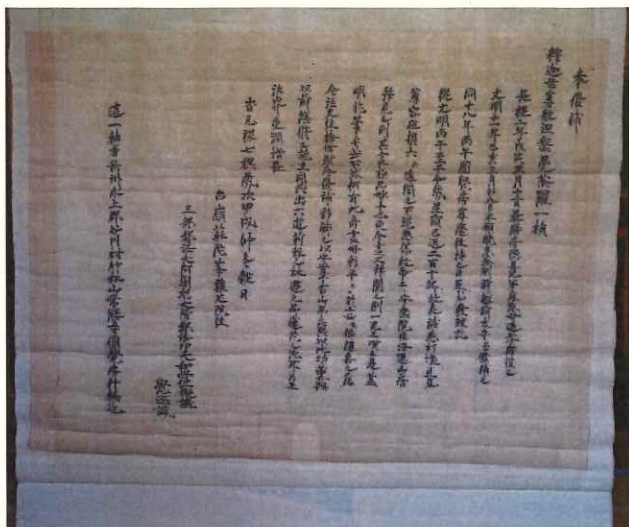
（169）
 豈元祿七禩歲次甲戌仲冬穀日

台嶺蘇陀峯鷄足院住

三部都法大阿闍梨大僧都法印大和尚位擬講

覺深識

這一軸者丹州水上郡谷川村竹林山常勝寺圓覺房什物也



箱書き墨書（赤外線） ※銘文が二種類確認でき、貞享銘は上書きしたもののか。

蓋裏

（判読不能）

常光房覺重也（箱加進 ※別筆力）
今ハ貞享二年（霜月十一日）

箱底

（判読不能） □右

長禄二年（正月十三日）入来有之也
然（云トモ）破捨シ今貞享二年（十一月十一日）加進 □
當山常光房覺重此箱作替玉也

丹州氷上郡粟作江
竹林山常勝寺 （判読不能） 當山院主仲勝院 □尊應

種別	有形文化財（絵画）
名称及び員数	絹本着色仏涅槃図 1幅
所在地	丹波市山南町谷川2630
所有者	宗教法人 常勝寺
所有者住所	丹波市山南町谷川2630
概説	<p>形質：絹本着色 法量：全体 縦173.5cm 横117.4cm 画面 縦139.9cm 横109.3cm 裏面墨書銘紙 縦93.1cm 横123.8cm 絹継ぎ：（左から）37.3cm、79.7cm、117.4cm 制作年代：14世紀後半～15世紀初頭（室町時代） 付属品：木箱（貞享2年 [1686] 制作、墨書有）</p>
基準	<p>○国宝及び重要文化財指定基準 （昭和二十六年文化財保護委員会告示第二号） 絵画、彫刻の部 重要文化財</p> <p>① 各時代の遺品のうち製作優秀で我が国の文化史上貴重なもの ② 我が国の絵画・彫刻史上特に意義のある資料となるもの ③ 題材、品質、形状又は技法等の点で顕著な特異性を示すもの ④ 特殊な作者、流派又は地方様式等を代表する顕著なもの ⑤ 渡来品で我が国の文化にとって特に意義のあるもの</p> <p>※市の運用基準として準用する。</p>

(説明)

1.形状・題材

仏教の開祖、釈迦が、沙羅双樹の木の下で亡くなったときの情景を描く。画面中央に右手枕で横たわる釈迦を描き、周囲には様々な菩薩や天部、比丘・比丘尼、仁王、龍王や動物が悲嘆する様子が描かれている。それらの会衆の間から、釈迦を取り囲むように沙羅の木が8本描かれており、右側の4本が枯れ、左側の4本が満開の様子で表現されている。左から2本目には、釈迦の巡錫を象徴する布にくるまれた鉢と錫杖が、画面上部右手側には阿那律に先導された釈迦の実母、摩耶夫人が表現されている。なお、表具は描表具で、制作当初のものと思われる。

2.品質・特徴

絹本著色。本図の特徴として、釈迦の宝床の手前に描かれている阿難は通常、うつ伏せか仰向けの姿で描写されるが、本図では抱き起される姿で描かれている。これは中国の南宋時代(12～13世紀頃)の涅槃図に見られる特徴であり、大阪・叡福寺にも同様の涅槃図があることから、その図様を継承しているものと考えられる。また、沙羅双樹の左から2本目の木に描かれる布にくるまれた鉢は、摩耶夫人を先導する阿那律が持っている袋包みと同個体のものだが、これは江戸時代頃の表現と類似しており、極めて早い時期の表現といえる。その他、左上にクジャクを頭に乘せた神将形が描かれているが、これは他に類を見ない極めて珍しい表現である。描き方も特徴的で、人物を描く線と比べて、衣や動物の輪郭線は太めで描かれているなど繊細な描き分けがされている。

3.保存状態

本紙は彩色が良く残るが、強い横折れが多数確認でき、そこから絵絹の脱落が発生している。また、表具も経年による離れがあり、特に下部の剥がれが大きく、今後さらに劣化するおそれがある。

4.制作年代

制作年は不明ではあるが、彩色や絵絹の状態などから、南北朝時代後半から室町時代初期(14世紀末から15世紀初頭)に制作されたと考えられる。寛文3年(1663)に比叡山延暦寺の僧・覚深が記した軸裏の墨書銘によれば、室町時代には常勝寺に伝来したこと、また長禄2年(1458)、文明11年(1479)、同18年(1486)に修理されたことが分かる。箱書きには貞享2年(1685)に修理が記載される。

5.評価

本図は、宋風の、特徴ある図様の涅槃図として特筆すべき作品であり、また少なくとも室町時代には常勝寺に伝来していたことが確認できる点も貴重である。よって、丹波市指定文化財にふさわしい価値を有する文化財であると判断できる。

丹波市立歴史民俗資料館条例施行規則の一部改正（案）について

[改正の趣旨]

市の開庁時間が令和8年4月から午前9時に本格運用開始されることに伴い、他の市内社会教育施設との整合を図るため、資料館の開館時間を変更する。

[改正の内容]

開館時間を「午前9時」から「午前10時」に変更する。
なお、閉館時間は従来通り「午後5時」と変更はございません。

[施行期日]

令和8年4月1日

丹波市立歴史民俗資料館条例施行規則
(平成16年丹波市教育委員会規則第39号) 新旧対照表

現行	改正後（案）
<p>(開館時間等)</p> <p>第2条 丹波市立歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の開館時間は、<u>午前9時</u>から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、丹波市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたときは、これを変更することができる。</p>	<p>(開館時間等)</p> <p>第2条 丹波市立歴史民俗資料館（以下「資料館」という。）の開館時間は、<u>午前10時</u>から午後5時までとする。ただし、入館は、午後4時30分までとする。</p> <p>2 前項の規定にかかわらず、丹波市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認めたときは、これを変更することができる。</p>

令和7年度 文化財関係事業報告

	事業名等	内容等	実施時期	場所等	対象等	備考
文化財管理関係事業	文化財保護審議会	市指定文化財の指定申請から諮問	7月、2月	教育委員会	文化財全般	10人の委員による審議(7/11、2/13)
	文化財保存団体補助	無形文化財及び無形民俗文化財活動補助金	通年	市内	各保存団体	伝承活動のための補助金(成松の造り物行事、青垣の翁三番叟、熊野神社の裸祭、南多田新発意おどり、常勝寺追儺式鬼こそ)【資料4】
	市指定文化財保存整備等補助事業	小野天満宮舞台(割拝殿)保存修理事業 鴨神社のイチョウ保存整備事業 苅野神社本殿保存修理事業	4月～11月 11月～12月 7月～3月	小野天満宮 鴨神社 苅野神社	小野天満宮 鴨神社 上・下小倉共有山管理組合	屋根塗装工事 イチョウの倒木防止策としての剪定 向拝柱復旧工事他 【資料4】
	国登録有形文化財(県景観形成重要建造物)	慧日寺庫裏の屋根南面の茅葺替修繕	5月～9月	慧日寺	慧日寺	(公財)兵庫県まちづくりセンター助成事業で実施【資料4】
	文化財清掃管理業務	三ツ塚史跡公園・天神窯跡・野々間遺跡の芝草刈、剪定 旧友井家住宅・旧朝倉家住宅内外清掃	4月～3月	市島町・春日町・山南町・青垣町	三ツ塚史跡公園・野々間遺跡・旧友井家住宅・旧朝倉家住宅	国史跡公園、国・県指定文化財の適正な維持管理
	柏原藩陣屋跡庭園等管理業務	柏原藩陣屋跡の植栽等の管理	4月～3月	柏原町柏原	柏原藩陣屋跡	国史跡「柏原藩陣屋跡」敷地内の植栽等の適正な維持管理
	県指定天然記念物 柏原の大ケヤキ(木の根橋) 治療業務	樹勢回復の治療及び薬剤散布	10月～3月	柏原町柏原	柏原の大ケヤキ	県補助事業で実施【資料4】
	旧広小路土堀跡保存修理工事	市史跡 旧広小路土堀跡の保存修理	11月～令和9年2月	柏原町柏原	旧広小路土堀跡	修復工事(2ヵ年工事)
	黒井城跡石垣計測・石垣調査業務	国史跡 黒井城跡の石垣カルテ作成及び耐震診断	10月～3月	春日町黒井	黒井城跡	国補助事業で実施(2ヵ年業務)
	市内古文書等歴史資料調査	散逸・滅失が危惧される近世地方文書を中心に、調査を行い、資料価値を地域と連携しながら見直し、調査活動を通して地域づくりに資する	5月～3月	市内	歴史講座 6回 丹波志を読む 3回 古文書調査(細見綾子生家所蔵資料等)	神戸大学大学院人文学研究科との共同研究(委託業務)。古文書を中心に、主に近世文書、古写真、村絵図等の所在調査を行い、その調査及び研究成果を公表する講座を開催
	旧朝倉家住宅の特別公開、体験・ワークショップ、おはなし会などの開催	旧朝倉家住宅の解説、養蚕作業等の実演・体験、むかしばなしなどのおはなし会、箏の演奏会、丹波布の展示会	7/19(土) 4月～11月の第2土曜日(7月は第3土曜日)	旧朝倉家住宅	市民等(親子など)	ボランティアによる養蚕作業・糸つむぎ等の実演・体験等を実施。おはなし会は、青垣図書館および読み聞かせグループとの共同で実施。丹波布の展示会は、丹波布技術保存会の協力のもと実施
	指定文化財管理	市所有文化財の保存・管理	通年	市内	各所	二間塚古墳、岩尾城跡、黒井城跡の草刈等を各地域住民に委託
美術工芸品調査	慧日寺の美術工芸品調査	2月26日、27日(予定)	慧日寺	市内の未指定文化財	門脇委員、大阪大学学生による調査を実施	
資料館管理関係事業	資料館運営委員会	各資料館の適正な管理と運営を審議	7月、2月	教育委員会	各資料館	10人の委員による審議(7/11、2/13)
	施設管理	施設保守管理	随時	各資料館	各資料館	経常的な維持管理
	市島民俗資料館の開館 市島歴史講座の開催	開館ボランティアの会による資料館の開館 ボランティアの会との共催による歴史講座の開催	年間26日開館 年3回	市島民俗資料館 ライフピアいちじま、春日住民センター	市民等	入館者数(1月末まで) 385名 参加者 計41名(1回目5名/2回目22名/3回目14名) ※R6年度参加者 計77名
	企画展の開催	夏季企画展「戦後80年 銃後の丹波 兵士の戦場」	7/26(土)～8/31(日)	春日歴史民俗資料館	市民等	戦時中の丹波での生活や、丹波から出征した兵士が見た戦場や従軍生活にまつわる資料の展示
		合同企画展「勝手にたんばフィールドパビリオンin柏原藩陣屋跡」	10/4(土)～11/30(日)	柏原藩陣屋跡	市民等	市内ミュージアム合同企画展。大阪・関西万博の開催を記念して、1970年の大阪万博やその時代にまつわる、職員の推し品々を展示
	ミニ企画展「発掘された柏原藩陣屋跡と城下町」	2/3(火)～3/19(木)	柏原歴史民俗資料館 柏原藩陣屋跡	市民等	令和7年度に兵庫県が発掘した柏原藩陣屋跡の調査速報パネル展や、過去に丹波市が実施した発掘調査で出土した遺物を紹介【資料9】	
埋蔵文化財調査関係事業	埋蔵文化財の照会・回答	埋蔵文化財と開発事業との調整	年間随時	市内	市・民間開発事業者	随時対応【資料7】
	市内遺跡発掘調査等事業	国庫補助事業 市内開発事業に伴う事前確認・試掘調査・分布調査	年間随時	市内	市・民間開発事業者	市内各開発地の試掘確認調査を実施し、各種開発事業との調整を行う【資料7】
	埋蔵文化財調査報告書	国補助金による発掘調査報告書の作成	年間随時	市内	市内の各遺跡等	市埋蔵文化財試掘調査概要報告書の刊行

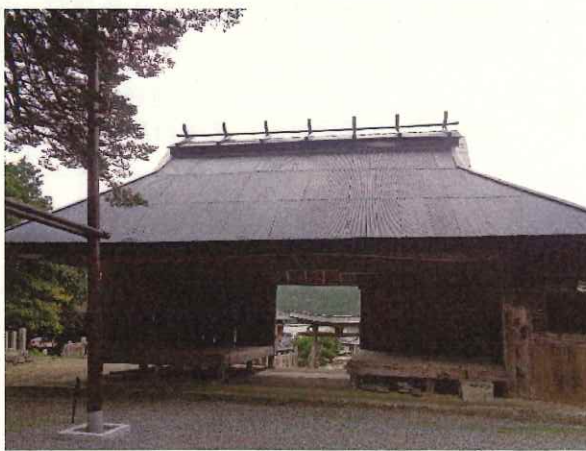
令和7年度 指定文化財に係る保存整備等補助事業の実施状況

番号	指定文化財名称	指定等区分	所有者(管理者)	整備の概要等	補助対象経費	補助金額	備考
1	八幡神社本殿及び拝殿	国指定	宗教法人 柏原八幡宮	防災設備保守点検(自火報、避雷針等の点検。年2回)	190,100円	県 95,000円	県補助事業
2	文化財保存技術 「檜皮採取」大野浩二	国選定 保存技術	大野浩二氏(選定 保存技術保持者)	檜皮採取技術者(中級者)の檜皮採取技法の研修	2,125,000円	国 2,106,000円 (定額補助)	国庫補助事業
3	文化財保存技術 「竹釘製作」石塚直幸	国選定 保存技術	石塚直幸氏(選定 保存技術保持者)	竹釘製作技術者の竹釘製造、道具調整、竹材採取の研修	1,113,000円	国 1,106,000円 (定額補助)	国庫補助事業
4	柏原の大ケヤキ(木の根橋)	県指定	丹波市	根の治療等	1,503,000円	県 751,000円	県補助事業
5	慧日寺庫裏	国登録	宗教法人 慧日寺	南面茅葺き替え修繕	12,954,000円	県市 3,238,000円 3,238,000円	景観形成重要建造物等修景助成(市随伴)
6	小野天満宮舞台 (割拝殿)	市指定	小野天満宮	垂鉛葺き屋根の塗装工事	1,399,000円	市 699,000円	市補助事業
7	苅野神社本殿	市指定	上・下小倉共有山 管理組合	向拝柱復旧工事、濡縁・腰板張り替え工事	1,530,000円	市 765,000円	市補助事業
8	鴨神社のイチョウ	市指定	鴨神社	イチョウの枝葉の剪定、上部幹・枝の部分伐採	342,000円	市 171,000円	市補助事業

番号	指定文化財名称	指定等区分	所有者（管理者）	整備の概要等	補助対象経費	補助金額	備考
9	成松の造り物行事	市指定	成松造り物保存会	活動補助	555,000円	市 210,000円	市補助事業
10	青垣の翁三番叟	国選択 県指定	青垣翁三番叟保存会	活動補助	384,000円	市 100,000円	市補助事業
11	熊野神社の裸祭	市指定	熊野神社裸祭保存会	活動補助	542,000円	市 50,000円	市補助事業
12	南多田新発意おどり	市指定	南多田新発意おどり保存会	活動補助	330,000円	市 30,000円	市補助事業
13	常勝寺追儺式 鬼こそ	市指定	宗教法人 常勝寺	活動補助	213,000円	市 30,000円	市補助事業



慧日寺庫裏南面茅葺替



小野天満宮舞台（割拝殿）屋根塗装



鴨神社のイチョウの剪定等

令和7年度資料館入館者集計(1月末現在)

2026.2.13 審議会
資料5

館名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
柏原歴史民俗資料館	308	274	188	429	237	252	1,017	487	186	84			3,462
春日歴史民俗資料館	45	40	38	95	429	29	25	91	5	204			1,001
市島民俗資料館	24	26	35	73	29	25	31	90	29	23			385
月別合計	377	340	261	597	695	306	1,073	668	220	311			4,848

●春日歴史民俗資料館

・ミニ企画展「見られないところを3Dで見てみよう」

会期: 令和7年4月26日(土)以降通年展示

・夏季企画展「戦後80年 銃後の丹波 兵士の戦場」

会期: 令和7年7月26日(土)～8月31日(日) 入館者数 474名



「戦後80年 銃後の丹波 兵士の戦場」

●柏原歴史民俗資料館(柏原藩陣屋跡 展示室)

・令和7年度職員の推したい一品 大阪・関西万博開催記念
「勝手にたんばフィールドパビリオンin 柏原藩陣屋跡」

会期: 令和7年10月4日(土)～11月30日(日) 入館者数 1,375名

・ミニ企画展「発掘された柏原藩陣屋跡と城下町」

会期: 令和8年2月3日(火)～3月19日(木)



「勝手にたんばフィールドパビリオン」



「発掘された柏原藩陣屋跡と城下町」

●市島民俗資料館

・市島歴史講座、市島町文化祭に関連した内容の展示

1. 寄贈

資料名	寄贈者
五銭紙幣、十銭紙幣ほか 古紙幣・古銭複数点	片山美代子氏
稲畑人形（太閤秀吉） 1点	足立秀文氏
『黒井区絵図』ほか（三崎家旧蔵資料） 絵図4冊	村上正樹氏
太型蛤刃石斧（市内遺跡出土遺物） 1点	芦田由美氏
日下弘氏（寄贈者夫）戦時中従軍時写真 アルバム 1冊	日下かつゑ氏
坂谷義雄氏（寄贈者実父）戦時中従軍時写真 アルバム 1冊・ネガフィルム 一式、従軍関係文献 1冊	野村由美氏
『戦争を長く語り継いで下さい 無名兵士の手記』（寄贈者実父・岡田好一氏の従軍時手記に関する本） 1冊	岡田龍雄氏
戦時中絵葉書、戦時中写真 アルバム 1冊	野村由美氏
伝宗太郎焼壺（三崎家旧蔵資料） 1点	柳浦文男氏
産着、振袖、長襦袢、腰紐、飾り襟（戦時中着物）各1点	長谷川雅世氏
矢（行軍用?）、ゆがけ、棟札（寛政7年「金剛寺堂修理」）ほか 複数点	長慶院（山南町玉巻）
村上専精筆書扁額、松瀬青々等俳句短冊・書画掛軸、版本『太平記』（巻一～十、剣巻）ほか 複数点	荻野文一郎氏

2. 寄託（該当なし）

3. 写真使用・掲載

資料名	使用目的・番組名等
織田信長肖像画（織田家関係資料内）	<ul style="list-style-type: none"> ・（コミュニティネット）読むクリアファイル『豊臣録（仮）』に写真掲載 ・（〃）『2026年版 錦絵 歌川派絵師による日本史の名場面カレンダー（仮）』に写真掲載 ・（〃）『2026年版 戦国手帳』に写真掲載 ・（〃）読むクリアファイル『戦国ジャーニー（仮称）』に写真掲載 ・（〃）読むクリアファイル『戦国国家臣団（仮称）』に写真掲載 ・（〃）学習ツール『戦国BATTLEデータカードトランプ』に写真掲載
織田信雄肖像画（織田家関係資料内）	<ul style="list-style-type: none"> ・（コミュニティネット）『2026年版 戦国手帳』に写真掲載 ・（〃）学習ツール『戦国BATTLEデータカードトランプ』に写真掲載 ・（戎光祥出版）『戦国武将列伝 織田編』に写真掲載 ・（金甲舎）『決定版日本の名城』44号（安土城・八幡山城特集）に写真掲載 ・（イースト）NHK「豊臣政権サミット2026」番組内で写真使用 ・（〃）NHK・BS「ザ・プロファイラーSP『豊臣秀長（兄弟）』（仮）』番組内で写真使用 ・（ネクサス）テレビ東京「開運！なんでも鑑定団」番組内で写真使用 ・（エディキューブ）週刊朝日ムック『歴史道』vol.43に写真掲載 ・（テレパック）BS11「偉人・敗北からの教訓 #128小田原合戦」番組内で写真使用
梶原遺跡出土壺	<ul style="list-style-type: none"> ・（KADOKAWA）若狭徹著『馬と人の古代史』に写真掲載
岩尾城跡	<ul style="list-style-type: none"> ・（両丹日日新聞）歴史講座紹介記事に写真掲載
旧朝倉家住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・（兵庫県民芸協会）機関誌『兵庫民芸』続・丹波布特集号に写真掲載

七日市遺跡	・(読売テレビ)「かんさい情報ネットten.街かどトレジャー」番組内で発掘現場の写真使用
柏原藩陣屋跡	・(TOPPAN)中兵庫信用金庫2026版企業カレンダー内にイラスト掲載 ・(IZANY)御城印、アクリルキーホルダー等作成に写真使用
三ツ塚廃寺および天神窯跡出土瓦、波尼遺跡出土瓦、本町遺跡出土瓦、井原・法ゲン経散布地出土瓦	・(京都府立大学大学院学生)「古代丹波国における瓦生産・供給の変遷」に関する修士論文への写真掲載
拳田古墳出土埴輪片	・(個人)自費出版の丹波市内古墳調査文献への写真掲載
片山桃史従軍関係葉書・書簡	・(大人のための朗読会くろまめいと)朗読用資料として複写を使用
崇廣館、小島省齋関係資料	・(崇廣館を再建する会)崇廣館にまつわる展示会において写真・解説パネル展示(10/19織田まつり当日、柏原自治会館内において開催)
『絵本太閤記』(「赤井悪右衛門討死乃図」部分)	・(テムジン)NHK BSでの放送番組「いいいじゅー!!」番組内での荻野直紹介時に写真使用
『織田出雲守 旗之紋 幕之紋 家之紋 替紋』(織田家関係資料内)	・(IZANY)御城印、アクリルキーホルダー等作成に係る参考資料として使用
津田内蔵助屋敷写真、「丹州栢原絵図」	・(兵庫県まちづくり技術センター)神戸地方・家庭裁判所柏原支部庁舎建築工事に係る埋蔵文化財発掘調査報告書『柏原旧城下町』に写真掲載
「崇廣館」木造扁額、「栢原城下図」(織田家関係資料内)	・(個人)丹波OB大学講座内資料に写真掲載
旧氷上高等小学校校舎(明治26年、氷上郡第一高等小学校時代)古写真	・(読売新聞)兵庫県版の連載記事「兵庫五国 れんがの唄」での写真掲載
崇廣館と尚徳門(明治後期頃)古写真、「栢原県庁及士族卒屋敷図」	・(兵庫県まちづくり技術センター)柏原藩陣屋跡発掘現場での現地説明会用資料に写真掲載
大型蛤刃石斧	・(丹波新聞社)資料寄贈に係る記事内での写真掲載

4. 文化財利用

柏原藩陣屋跡	・(池畑銘茶本舗)ひょうごフィールドパピリオン関連体験コンテンツとして茶の湯の体験を実施 計4回実施 ・(織田まつりうまいもんフェスタ実行委員会)10/19織田まつり開催当日、建勲神社の鳳輦展示、武者行列の記念撮影、出陣太鼓の演舞 ・(カケルタンバ)10/19織田まつり当日に実施するコスプレイベント「丹コス in栢原城下町」の撮影可能場所としての利用 ・(崇広小学校)小学5年生の授業「総合的な学習の時間」における和の文化体験学習(茶の湯体験) ・(丹波かいばら雛めぐり実行委員会)R8/3/21~4/5丹波かいばら雛めぐり開催中間中、雛人形および「俳句の街」に関する展示を実施
梶原遺跡出土埴	・(元興寺文化財研究所)出土木製品の機能・用途の研究にかかる閲覧・撮影
柏原藩政日記	・(東京都立大学客員研究員)論文作成にかかる閲覧・撮影

5. 資料貸出

資料名	展覧会名
初代磯尾柏里作「田ステ女木彫像」、初代磯尾柏里作「田ステ女石像」(写真)、三木翠山画・松井拳堂賛「絹本着色田ステ女画像」	・(丹波市立植野記念美術館)「生誕135周年 初代磯尾柏里展 彫刻家の夢」 <展示期間:令和8年1月10日(土)~2月23日(月・祝)> ※展覧会図録への写真掲載含む
千歯こき、俵、鋏、唐箕、犁	・(丹波市立水分れフィールドミュージアム)冬季企画展「丹波の生活と川」 <展示期間:令和8年1月17日(土)~4月12日(日)>

6. 学校見学受け入れ

●春日郷土資料館(計13校)

春日部小学校3年生	19名(引率者含む)
西小学校3年生	20名(引率者含む)
青垣小学校3年生	53名(引率者含む)
南小学校3年生	23名(引率者含む)
小川小学校3年生	19名(引率者含む)
上久下小学校3年生	13名(引率者含む)
黒井小学校3年生	24名(引率者含む)

大路小学校3年生	23名(引率者含む)
新井小学校3年生	23名(引率者含む)
東小学校3年生	49名(引率者含む)
進修小学校3年生	17名(引率者含む)
久下小学校3年生	19名(引率者含む)
竹山小学校3年生	17名(引率者含む)

●春日歴史民俗資料館(計6校)

春日部小学校3年生	19名(引率者含む)
青垣小学校3年生	53名(引率者含む)
小川小学校3年生	19名(引率者含む)
上久下小学校3年生	13名(引率者含む)
東小学校3年生	49名(引率者含む)
竹山小学校3年生	17名(引率者含む)

●市島民俗資料館(計2校)

吉見小学校、美和小学校6年生	あわせて 50名程度(引率者含む)
----------------	----------------------

●旧朝倉家住宅(計1校)

西小学校3年生	20名(引率者含む)
---------	------------

●開発事業承認申請

	住所		遺跡名	時代	種類	照会文書の提出
1	丹波市山南町	小野尻 字中所 925-1	—			不要
2	丹波市山南町	草部 字川原畑 242-2、244-1	—			不要
3	丹波市山南町	大谷 257他6筆	—			不要
4	丹波市市島町	上竹田 字日巻 1127ほか10筆	上竹田C遺跡	古代～近世	散布地	必要
5	丹波市市島町	東勅使 字覆坪 1088-1	—			不要
6	丹波市春日町	柚津 239、240-1、241-1	—			不要
7	丹波市春日町	野村 1891、1892、1893-1、2、1991-1、1992、1993-1、1994-1	七日市遺跡	旧石器～平安時代	集落	必要
8	丹波市春日町	国領 154、159	—			不要
9	丹波市春日町	国領 151、153	—			不要
10	丹波市春日町	国領 160、161	—			不要
11	丹波市春日町	小多利 字新林 1049-3	新林古墳群	古墳時代	古墳	必要
12	丹波市春日町	多田 646-1、1674-1、1677-1	—			不要
13	丹波市春日町	多利 821-1、823、824	—			不要
14	丹波市柏原町	南多田 尾髭前 332-3	—			不要
15	丹波市柏原町	柏原 下浅田 1786-1	—			不要
16	丹波市氷上町	上成松 尾上原 125、125-1	—			不要
17	丹波市氷上町	上成松 古市場城ノ堤 253-1、254-1、255-1	分布推定地(上成松城跡)			必要
18	丹波市氷上町	大崎 250-1、219-1	—			不要
19	丹波市氷上町	大崎 190-1、198-1、199-3	—			不要
20	丹波市氷上町	成松 479-1	—			不要
21	丹波市氷上町	石生 202、203、204の一部	—			不要
22	丹波市青垣町	文室 田ノ尻 349-5、350-2、351-1、351-2、352	—			不要
23	丹波市青垣町	文室 田ノ尻	—			不要
24	丹波市青垣町	文室 横次 37-2	—			不要
25	丹波市青垣町	東芦田 江古端 969-1、970-1、971-3	—			不要
26	丹波市青垣町	東芦田 發塚 745-1、750-1、751	—			不要
27	丹波市青垣町	東芦田 惣福寺 476、476-1、476-2	南谷遺跡	古代～近世	散布地	必要
28	丹波市青垣町	東芦田 殿屋敷 581、582-1、582-2	—			不要

●樹木伐採に伴う届出

	住所		遺跡名	時代	種類	照会文書の提出
1	丹波市山南町	谷川 字大道ヶ谷 4152-2、4154-3	—			不要
2	丹波市山南町	谷川 字黒岩 4150-1、4151	—			不要
3	丹波市山南町	谷川 字黒岩 4148、4149	—			不要
4	丹波市山南町	坂尻 字高畑 1128-1	—			不要
5	丹波市山南町	金屋 字大谷 677-4	—			不要
6	丹波市山南町	岡本 字ユヅリ 1127	—			不要
7	丹波市山南町	谷川 字豆築 4250-1外12筆	—			不要
8	丹波市市島町	中竹田 字安下 6131-1	—			不要
9	丹波市市島町	上竹田 字篠藪 4142、4143-1	—			不要
10	丹波市市島町	梶原 字畑山 1415、1417	畑山城跡	中世	城跡	必要
11	丹波市市島町	上鴨阪 字小赤保 2147-4他36筆	余田城、鴨阪城跡	中世	城跡	必要
12	丹波市春日町	野村 字西庵 4384	—			不要
13	丹波市春日町	野村 字西庵 4384	西野々古墳群	古墳時代	古墳	協議
14	丹波市春日町	小多利 字カラタキ 99-2	—			不要
15	丹波市氷上町	井中 字黒木 2242-4	—			不要
16	丹波市氷上町	井中 字中倉 2058、2058-1	—			不要
17	丹波市氷上町	井中 字甲谷 2063-1	—			不要

	住所				遺跡名	時代	種類	照会文書の提出
18	丹波市氷上町	井中	字甲谷	2063-1	井中古墳群	古墳時代	古墳	事前立会
19	丹波市氷上町	井中	字甲谷	2064	井中古墳群	古墳時代	古墳	事前立会
20	丹波市氷上町	三原	字南奥嶋	15-1、18-1、19-1、21-1、23-2、39-2	—			不要
21	丹波市氷上町	絹山	字東山	102	絹山東山古墳群	古墳時代	古墳	事前立会
22	丹波市氷上町	朝阪	字北山	2010	—			不要
23	丹波市氷上町	朝阪	字北山	2010、2011、2012、2013-1、2	—			不要
24	丹波市氷上町	朝阪	字小山本	731、2003、2008、2009	—			不要
25	丹波市氷上町	朝阪	字千代畑	926-2	—			不要
26	丹波市氷上町	清住	字東山	1043	—			不要
27	丹波市氷上町	清住	字立身山	1155他6筆	—			不要
28	丹波市氷上町	三方	字安田	2017	—			不要
29	丹波市氷上町	新郷	字北ヶ野	1392外5筆	—			不要
30	丹波市氷上町	佐野	字西ノ嶋	294外	—			不要
31	丹波市氷上町	沼	字下山	1001-5	—			不要
32	丹波市氷上町	油利	字カイチ田	825-1	—			不要
33	丹波市青垣町	稲土	字弥二郎山	2441-1、2451、2452-1	—			不要
34	丹波市青垣町	検垣	字小シモガ谷	1024	—			不要
35	丹波市青垣町	検垣	字大シモガ谷	1025-2、1025-3	—			不要
36	丹波市青垣町	大名草	字鳥峠 字三國ヶ嶽	1363-2ほか8筆 2075ほか2筆	—			不要
37	丹波市青垣町	大名草	字芦谷	2054、2055	—			不要
38	丹波市青垣町	栗住野	字梅木畑	2045	—			不要
39	丹波市青垣町	大禰	字高谷	1073、1074、1075	—			不要
40	丹波市青垣町	西芦田	字イケ	2032-2	—			不要
41	丹波市青垣町	西芦田	字イケ	2032-2	—			不要

●93条届出

埋蔵文化財包蔵地の範囲内で工事に伴う掘削作業を行う場合、民間施工の場合は文化財保護法第93条第1項に基づく届出を工事着手の60日前までに市教委を通じて県教委へ届出

	住所				遺跡名	時代	工事内容	対応
1	丹波市山南町	谷川	字生田	2025番	雲光寺跡	近世～近代	個人住宅	工事立会
2	丹波市山南町	下滝	字前田	91-9	下滝遺跡	弥生、近世	個人住宅	慎重工事
3	丹波市山南町	小野尻	字前事	435-1の一部	若林遺跡	古墳～中世	倉庫	工事立会
4	丹波市市島町	上田	字サコ畑	642-5	上田遺跡	弥生～近世	個人住宅	慎重工事
5	丹波市市島町	上田	字位川原	504-1、504-5	上田遺跡	弥生～近世	個人住宅	慎重工事
6	丹波市市島町	上鴨阪	字日向	2134-1他2筆	鴨坂城跡	中世	送電鉄塔改良	試掘 慎重工事
7	丹波市市島町	上鴨阪	上ノ山	2017-1他1筆	余田城跡	中世	送電鉄塔改良	試掘 慎重工事
8	丹波市春日町	国領		556	国領遺跡	旧石器～近世	個人住宅	工事立会
9	丹波市春日町	七口市		604-1、607-1	七口市遺跡	旧石器～平安	店舗	工事立会
10	丹波市春日町	野村		1891-8	七口市遺跡	旧石器～平安	個人住宅	慎重工事
11	丹波市春日町	野村		1891-6	七口市遺跡	旧石器～平安	個人住宅	慎重工事
12	丹波市春日町	野村		1891-3	七口市遺跡	旧石器～平安	個人住宅	慎重工事
13	丹波市青垣町	沢野	字立ウツ	43	沢野条理遺構	中世	鉄塔敷地修繕	工事立会
14	丹波市青垣町	東芦田	字惣福寺	476、476-1、476-2	南谷遺跡	近世	太陽光発電	慎重工事
15	丹波市柏原町	柏原		48	柏原旧城下町	奈良～平安、近世	個人住宅	慎重工事
16	丹波市柏原町	柏原	字南町	577	柏原旧城下町	奈良～平安、近世	個人住宅	試掘 慎重工事
17	丹波市氷上町	石生		2572-1	石生西遺跡	古墳、中世	個人住宅	試掘 工事立会

●94条通知

埋蔵文化財包蔵地の範囲内で工事に伴う掘削作業を行う際に国や地方公共団体の場合は文化財保護法 94 条第 1 項に基づく通知を計画策定の段階で市教委を経由して県教委へ通知

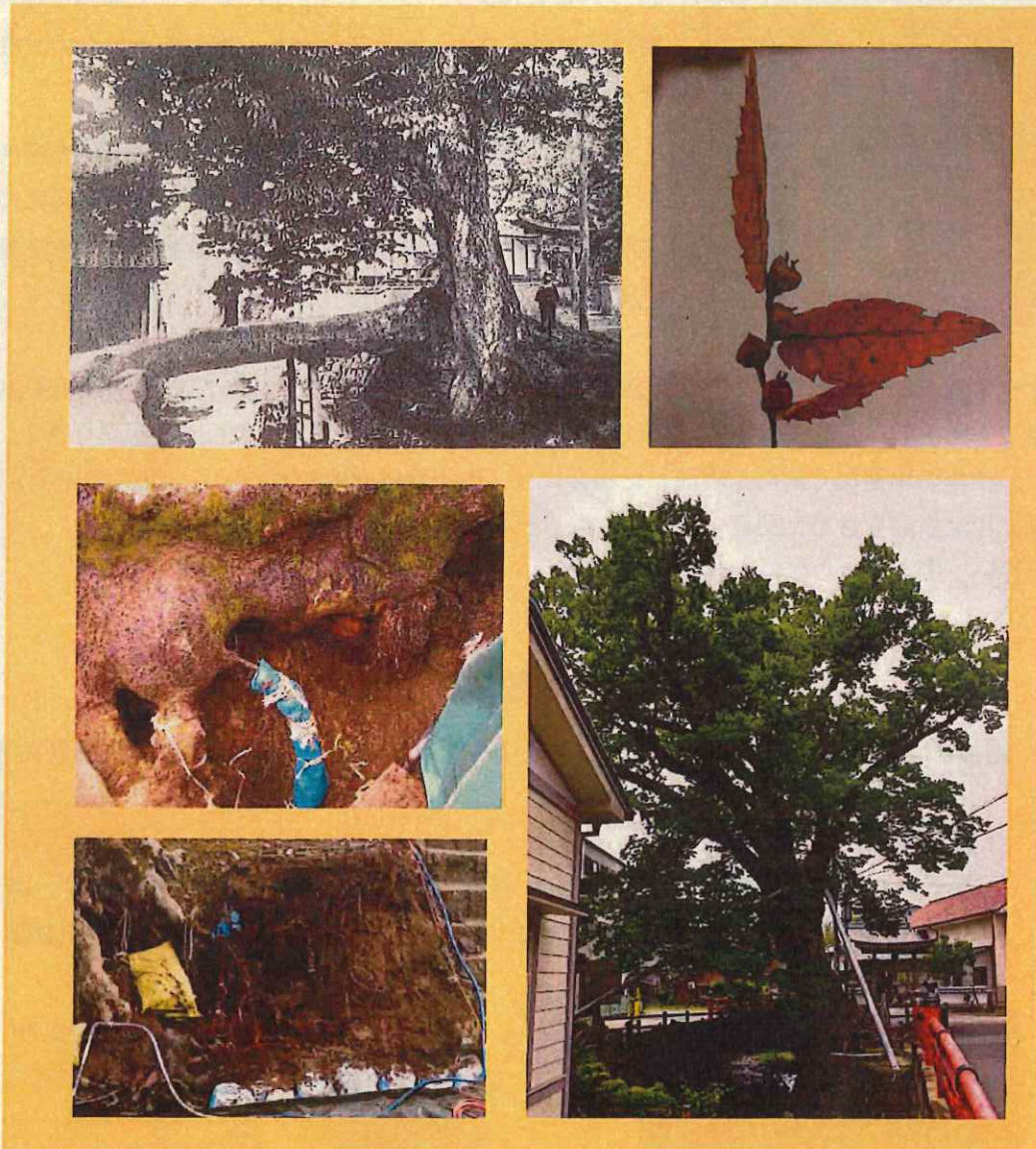
	住所			遺跡名	時代	工事内容	対応
1	丹波市山南町	井原	1031-1	至山城跡	中世	無線局舎再整備	慎重工事
2	丹波市青垣町	口塩久 字宮ノ上	1069	口塩久遺跡	古墳～近世	里山防災林整備事業	考古博と協議
3	丹波市青垣町	惣持	1121-1、1029	惣持遺跡	中世	砂防事業	考古博と協議
4	丹波市柏原町	柏原	688	柏原旧城下町	奈良～平安、近世	集落跡、城下町遺構	考古博と協議

●試掘調査

	住所			遺跡名	時代	種類	遺構の有無
1	丹波市市島町	上鴨阪 字日向	2134-1他2筆	鴨坂城跡	中世	城館跡	無
2	丹波市市島町	上鴨阪 上ノ山	2017-1他1筆	余田城跡	中世	城館跡	無
3	丹波市柏原町	柏原 字南町	577	柏原旧城下町	奈良～平安、近世	集落跡、城下町遺構	無
4	丹波市氷上町	石生	2572-1	石生西遺跡	古墳、中世	集落跡	竪穴住居

柏原の大ケヤキ（木の根橋）保存活用計画（案）〔概要版〕

～まちを見守る大ケヤキとともに、自然豊かで共に安全に暮らせるまちの実現～



令和8年 月

丹波市教育委員会



柏原の大ケヤキ（木の根橋） は、1本の根が川を跨いで根を張り、根が橋のようにになっているという珍しい姿から、昭和45年に県の天然記念物に指定され、まちのシンボルとして地域住民に愛されてきました。

この間、周辺工事等の影響を受け樹勢が弱まることが度々あり、平成13年には幹にナラタケモドキが見つかるなど樹勢に深刻な影響を及ぼす腐朽菌の侵入が見られることから、倒木防止のため支柱の設置や治療を行っています。

この支柱の設置から20年が経過し、新たな倒木防止対策や樹木の保存・治療について学識経験者や地域住民の意見を交えて今後の治療や保存活用に関する計画を策定するため、策定委員会を設置し協議検討を行いました。

倒木や落枝がいつ発生するのかを特定することは困難で、大ケヤキに面した道路は児童生徒の通学路や生活道路でもあるため、落枝対策や倒木の対策など安全対策を第一に取り組む必要があります。

また、治療の甲斐なく樹勢が衰弱した場合には、市街地に立地していることから安全上、木が枯死してしまう前に指定解除を含めた処置・対処をしなければならない可能性があることについて、十分な検討や合意形成を行い、広く周知していく必要があります。

— 基本方針 —

(1) 柏原の大ケヤキ（木の根橋）を見守り、樹勢の維持に必要な措置を適切に実施する。

・経過観察・定点観測

キノコの発生状況や幹の傾きの計測、枝葉の様子など樹木の状態だけでなく、周囲に設置した灌水装置や保護柵、看板類、石垣の状態についても毎月1回の現地観察を行い観察票に記録し、3方向からの定点撮影を実施します。



定点撮影

柏原の大ケヤキ（木の根橋） 観察票	
観察年月日	観 察 者
観 察 場 所	フォード橋
樹 勢 状 況	<input type="checkbox"/> 成長している <input type="checkbox"/> 枯損や大枝が折れ落ちる <input type="checkbox"/> 樹皮に傷やぶらぶら <input type="checkbox"/> キノコ発生 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 幹の傾き ()
幹の傾き	東側傾き () (計測部 *) 西側傾き () (計測部 *)
傾 斜	<input type="checkbox"/> 成長している <input type="checkbox"/> 傾斜が急激に増える(真横方向) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 傾斜が浅い
葉 (葉の割合)	<input type="checkbox"/> 葉が少なく <input type="checkbox"/> 葉が多い <input type="checkbox"/> 葉の落ち方 <input type="checkbox"/> 葉の色が茶色 <input type="checkbox"/> 葉の成長が早い <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 葉の長さ (cm) 葉のトゲの鋭さや材質
葉 質	<input type="checkbox"/> 健全な葉 <input type="checkbox"/> 葉に虫食痕が見られる <input type="checkbox"/> 葉の長さ () <input type="checkbox"/> 葉の幅 ()
幹の寸法	<input type="checkbox"/> 幹の傾き <input type="checkbox"/> 樹皮の剥離 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 幹の直径 <input type="checkbox"/> 木の節 ()
看板類	<input type="checkbox"/> 看板類あり (内容:)
保護柵	<input type="checkbox"/> 保護柵なし <input type="checkbox"/> 保護柵あり (内容:)
灌水機	<input type="checkbox"/> 灌水機なし <input type="checkbox"/> 灌水機あり (内容:)
石垣	<input type="checkbox"/> 石垣なし <input type="checkbox"/> 石垣あり (内容:)
道路すべり防止	<input type="checkbox"/> 道路すべり防止なし <input type="checkbox"/> 道路すべり防止あり (内容:)
その他(自由記述)	

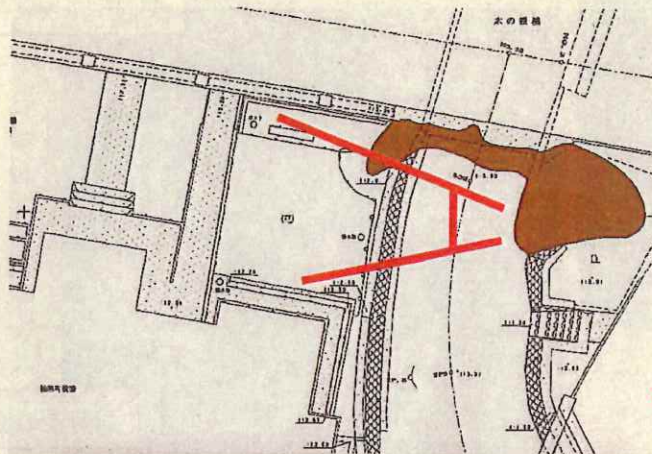
※写真は撮影時、写真撮影機材を木の幹に近づけず

観察票

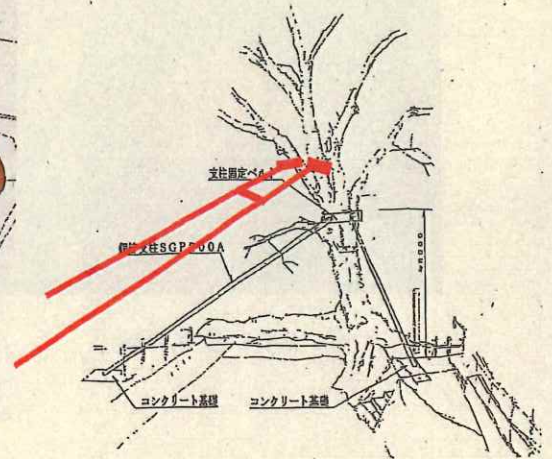
(2) 柏原の大ケヤキ（木の根橋）が人や物に危険を及ぼさないための安全対策を取る。

・支柱の設置、改修・メンテナンス

既設の支柱は幹を支えるもので、枝の支えではないため枝が根元から折れて幹が裂ける危険性が残っています。今後は、枝の強剪定を行うことで荷重を減らしていきますが、およそ20年をかけて徐々に行うものであるため、その間の対策として枝を支える新たな支柱を設置します。



支柱設置予定位置 平面図



支柱設置イメージ図

・枝落下防止ワイヤーの更新

枝が折れて地上に落下することのないように設置しているワイヤーを状況に応じて更新していきます。

(3) 地域資源として観光や自然・地域学習でのさらなる活用

・小学校での大ケヤキの治療や樹木に関する授業を行い、自然保護や天然記念物に関する理解を深めていきます。

・治療や樹木に関するデジタルパンフレット、ホームページを作成します。QRコードを説明板や観光案内所に設置して容易にアクセスできるようにします。

・数年に1度ある実のなり年には、多くの実生が木の周りに発生します。この種や苗木を配布し、育てることで、大ケヤキの大きさに育つまでの年月や、自然の素晴らしさを体感できるようにします。

また、木の根橋の2世を育てることで、この木のストーリーをつなげるとともに、愛着の醸成が図れるように努めます。

・ 樹木の治療

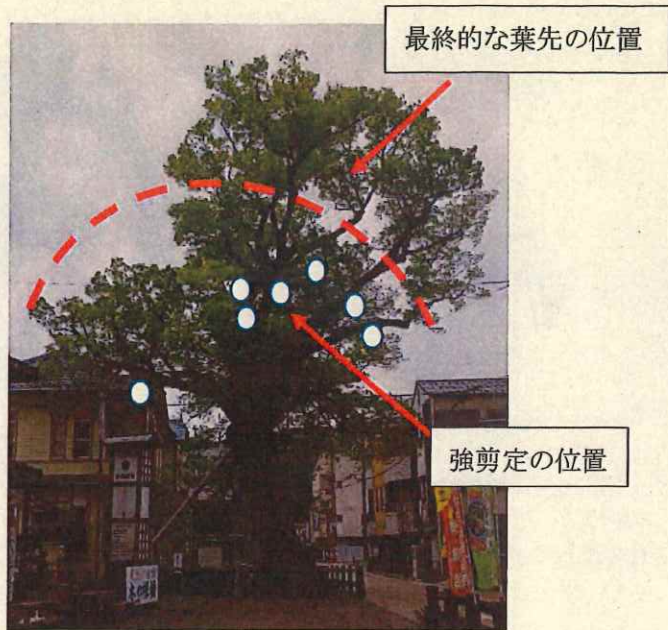
ナラタケモドキ等罹患部や枯れ枝の切除、天敵菌の散布等を実施します。

樹勢と枝張のバランスをとるため、樹高が 10m程度となるように枝の剪定を行う。重い枝を大部分が空洞となった幹で支えている現状では倒木の危険性があり、樹木の維持、安全性を観点からも強剪定を行って、ある程度人の手を入れて維持していく必要があります。

強剪定による木への負担を軽減できるように徐々に様子を見ながら剪定を行います。



ナラタケモドキ



強剪定及び最終的な葉先の位置

・ 根系の保護

樹木の生育環境の改善措置として、道路下の根の育成、土壌改良に取り組みます。



道路下の根の育成